

令和8年度
臨床研修スタート!

新年度が始まりました。令和8年度、宮崎大学医学部附属病院では、医科31名の新人研修医をお迎えいたしました。4月1日から8日にかけてオリエンテーションを実施し、臨床倫理、医療安全、感染対策、症例プレゼンテーションやコンサルト技法、診療録の記載方法など、医師・歯科医師に求められる基本的な知識と態度を学びました。あわせて、基本的な手技の習得や復習を目的とした実習、救急蘇生講習なども行い、実際の医療現場で働くための心と体の準備を整えました。これからの2年間、附属病院を中心に、県内各地の多くの医療機関で研修をさせていただきます。これら若き医療人たちへの温かいご指導とご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



//// 宮崎県研修医合同基本手技実習が開催されました!

新研修医オリエンテーションにおいて、「宮崎県研修医合同基本手技実習」が開催されました。本実習は、宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会の主催により実施され、県内の基幹型臨床研修病院に所属する新研修医(医科63名+歯科1名、計64名)が一堂に会し、臨床現場で直ちに求められる基本的な医療手技を、シミュレーション形式で学ぶ機会となっています。新研修医64名は5つのグループに分かれ、「静脈採血」「静脈路確保」「筋肉注射/ルート作成/アンプルカット」「動脈採血」「縫合」の5ブースをローテーション形式で回りました。新たに技術を習得するというよりは、学生時代に学んだ知識や手技を再確認し、記憶を呼び起こす時間となったようです。参加者は皆、緊張感の中にも真剣な表情で実習に臨んでいました。宮崎大学医学部での開催となったことから、本院の卒後臨床研修センターが全面的にバックアップを担当しました。同センターの教員をはじめ、一部の専攻医、そして4月1日時点で本院に在籍している宮崎大学および他の基幹型病院所属の2年次研修医が指導にあたりました。指導医の監督のもと、若手医師が後輩を指導する「縦のつながり」に加え、県内すべての新研修医が一堂に集まり実習を受けるという「施設を越えた横の連帯感」も醸成される、非常に貴重な機会となりました。



令和8年4月25日、シーガイアにて宮崎県内で新規採用の医科・歯科研修医(計64名)を対象に「All Miyazaki 研修医スタートアップ・セミナー&祝賀会」(主催:宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会)が開催されました。

宮崎県医師会からの説明会に続き、『2年間の臨床研修を充実させるための心構えとコツ』をメインテーマとし、7つのサブテーマで教育セッションが行われました(右表)。祝賀会では、河野雅行宮崎県医師会会長、河野俊嗣宮崎県知事、鮫島浩宮崎大学学長から祝賀メッセージをいただいた後、県内研修医代表として本院卒後臨床研修センターの末安諒河先生(学年リーダー)が臨床研修における抱負等を力強く宣言しました。

県内研修医と指導医が一堂に会し、同じ空間で交流できる本会は、「宮崎からはじめよう!」のキャッチフレーズのもと、大変素敵な時間でした。

テーマ	プレゼンター	所属病院
1)イントロダクション	小松弘幸	運営協議会
2)“できレジ”を目指そう!	坂本 遊	都農町国保病院
3)救急研修サバイバル	田中達也	宮崎大学病院
4)研修中の勉強法	早川 学	県立宮崎病院
5)研修Tips集	米良大雅	県立延岡病院
6)研究のススメ	酒井克也	宮崎大学病院
7)ストレスマネジメント	松田隆志	宮崎生協病院



スタートアップ・教育セッションの様子



祝賀会の様子



末安諒河先生代表挨拶

令和8年度

1年次 学年リーダー研修医からのごあいさつ



末安 諒河 先生

1年次研修医のリーダーになりました末安諒河と申します。宮崎県延岡市出身で、宮崎大学医学部を卒業しました。講義や実習でご教授いただいた先生方、お世話になった先輩方がたくさんいらっしゃる宮崎大学医学部附属病院で研修できることをとても嬉しく思います。先生方のご指導ご鞭撻のもと、医師としての地盤をこの2年間でしっかりと固め、今後のキャリアに生かすことのできるよう、精一杯頑張ります。今後とも宜しくお願い致します。



玉田 達大 先生

この度、1年次リーダーを務めさせていただくことになりました、玉田達大と申します。福岡県出身で、宮崎大学を卒業いたしました。これまで学生という立場で接していた先生方と、今後は同じ医師として共に働けることを大変嬉しく、また心強く感じております。医師としての立ち回りをはじめ、学ぶべきことはまだまだ多くありますが、日々一歩ずつ成長できるよう努めてまいります。至らぬ点多いかと存じますが、2年間どうぞよろしくお願ひいたします。



高橋 伶奈 先生

この度、1年次リーダーを務めさせて頂くことになりました高橋伶奈です。宮崎市出身で、宮崎大学を卒業しました。学生時代でもお世話になった親しみある環境で、再び先生方、先輩方と共に働けることをとても光栄に思います。まだまだ未熟で至らぬ点多いと思いますが、何事にも謙虚な姿勢で研修に励み、同期の皆と共に支え合いながら成長していきたいと思ひます。これから、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

「宮崎大学医学部附属病院 臨床研修プログラム説明会&研修医との何でも相談・懇親会」を開催しました!

令和8年2月16日、卒後臨床研修センターの企画として『宮崎大学医学部附属病院 臨床研修プログラム説明会&研修医との何でも相談・懇親会』を開催いたしました。本企画は、本学医学科の学生に本院の卒後臨床研修プログラムへの理解を深めてもらうことを目的に立ち上げ、今回は4回目の開催となります。

当日は、卒後臨床研修センターのセミナー室にて17時より開始し、医学科4~5年生19名にご参加いただきました。あわせて、有志の研修医12名、センター教員4名が参加しました。

まず冒頭では宮内副センター長より、宮崎大学の臨床研修プログラムの概要について説明し、全体で共通理解を図りました。その後はセンター教員・研修医・学生が同じテーブルを囲み、自由に懇談・相談ができるグループ形式の交流時間を設けました。

軽食や飲み物を囲みながらの約30分間のグループ懇談では、研修医からの率直な体験談や学生からの切実な質問が活発に交わされ、笑顔あり、真剣な表情ありの非常に充実した時間となりました。参加した学生にとって、自身の将来を具体的に考える良い機会となっていれば幸いです。



令和7年度卒後臨床研修センター修了式



令和8年3月26日に卒後臨床研修センター修了式を執り行いました。医科研修医17名、歯科研修医1名が研修を修了しました。修了式は、賀本病院長、小松卒後臨床研修センター長、金氏歯科研修プログラム責任者から修了者への挨拶のあと、修了証書が授与されました。併せて、ベスト指導医賞とベスト研修医賞の表彰も行い、選出された先生方へ賞状と楯が授与されました。非常にまとまりのある素晴らしい先生方ばかりでした。これからの専門研修での先生方のご活躍を心より期待しています。

ベスト研修医賞



永有 萌佳 先生

この度はこのような光栄な賞を頂戴し誠にありがとうございます。この2年間は宮崎大学病院の他にも、都農町国民健康保険病院、古賀総合病院、県立宮崎病院、県立日南病院で1ヶ月ずつ研修をし、熱心にご指導いただきました。また、学会発表や論文執筆の機会をいただき、大変勉強になりました。お忙しい中ご指導くださった先生方、卒後臨床研修センターの皆様、2年間本当にありがとうございました。(4月から呼吸器内科専攻医)



根井 健心 先生

この度はこのような大変光栄な賞をいただき、誠にありがとうございます。日々ご指導いただいた先生方、支えてくださった卒後のスタッフの皆様、そして共に学んだ同期の存在に心より感謝申し上げます。研修で得た経験を糧に、今後も初心を忘れず、患者さん一人ひとりに真摯に向き合い、より質の高い医療を提供できるよう一層精進してまいります。



森 夢実 先生

この度はこのような素晴らしい賞を賜り、誠に光栄に存じます。この2年間はとにかく周りの方々に恵まれ、医療に限らず幅広い経験が得られました。きっと今後の糧になると 생각합니다。これまでお世話になった全ての方々に心より御礼申し上げます。4月からは脳神経外科に入局し、勉強の毎日です。少しでも早く恩返しできるように努力していきます。後輩の皆様、脳神経外科への入局、お待ちしております。

令和7年度修了生が選ぶベスト指導医賞



1位 力武 雄幹 先生
宮崎大学医学部附属病院
感染症内科



2位 河野 智樹 先生
宮崎大学医学部附属病院
脳神経外科



3位 児玉 芳史 先生
宮崎大学医学部附属病院
麻酔科



4位 田村 穂高 先生
宮崎大学医学部附属病院
臨床腫瘍科



5位 島 雅保 先生
国立都城医療センター
外科



5位 福井 喜朗 先生
宮崎市立田野病院
地域医療



5位 三宅 良博 先生
県立延岡病院
救命救急科

感染症内科

力武 雄幹 先生

先生方、この度は研修修了おめでとうございます。また、このような賞を頂き大変ありがとうございます。たくさんの先生とかかわりあって、食事をしたことは私にとってとてもよい思い出で、素晴らしい経験でした。ひたむきに取り組まれる後輩の皆さんと一緒に臨床をすることができて、とても楽しかったです。皆様の今後のますますのご活躍を陰ながらお祈りしております。



脳神経外科

河野 智樹 先生

研修医の皆様、2年間お疲れ様でした。これから専攻医として忙しい日々が始まりますが、その経験一つ一つが確実に力になります。悩みや困難に直面した際は一人で抱え込まず、同僚や先輩後輩に加え、他科の医師や看護師をはじめとする多職種にも遠慮なく相談してください。支え合いながら共に成長していきましょう。



麻酔科

児玉 芳史 先生

令和7年度ベスト指導医賞をいただき、誠にありがとうございます。私の指導方針は「可能な限り自ら麻酔を経験させる」ことです。実践には指導医側の忍耐と対応力が不可欠で、教育には多大な手間もかかります。しかし、研修医が自ら判断し麻酔を完遂する姿こそが、私にとって最高のご褒美です。研修医の皆さん、ぜひ積極的に臨床へ参加してください。共に高めあおう！あなたも麻酔科医にならないか？



臨床腫瘍科

田村 穂高 先生

この度は指導医賞に選考いただき誠にありがとうございます。研修医の先生方ならびに卒後臨床研修センターの皆様にご挨拶申し上げます。外科研修時に、指導医の先生から進路が異なるにもかかわらず、「科は違っても宮崎で医療を担う仲間」と言っていたことが今も心に残っています。自分もそのような気持ちで、研修医の皆さんとともに宮崎の医療の一助になれるよう、頑張りしたいと思います。



宮崎大学医師臨床研修修了後の進路状況

修了者	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
宮崎大学・大学院	19	29	25	21	12	29	24	27	28	23	28	21	22	22	26	12	18	16
宮崎県内病院	2	1	0	1	1	2	2	3	0	0	2	0	6	2	0	0	1	0
県外大学・病院等	5	6	9	3	9	9	7	2	4	4	8	8	4	2	6	2	6	1
合計	26	36	34	25	22	40	33	32	32	27	38	29	32	26	32	14	25	17

研修医が学会発表で 初期研修医奨励賞を 受賞しました!



研修医が学会発表で優秀賞を受賞、 臨床研究が国際学術誌に 掲載されました!



受賞者 宮田 夏月 先生

学会名 第351回日本内科学会九州地方会

賞名 初期研修医奨励賞・指導医賞

演題 HIV感染症に合併した悪性梅毒の1例

指導診療科 感染症内科

受賞コメント この度はこのような素晴らしい賞を賜り、大変光栄に思います。直接ご指導頂いた力武先生を始めとし、感染症内科の先生方、講座の先生方、関わって頂いた皆様に心より御礼申し上げます。学会発表の準備を通して疾患の理解が深まり、症例の蓄積によって確立された新たな知識が生まれることを学びました。自身の成長につながる貴重な機会を与えて頂き誠にありがとうございました。

指導医からのコメント 感染症内科 力武 雄幹 先生

宮田先生、この度は初期研修医奨励賞を受賞なさり誠にめでたうございます。学会発表を進んで引き受けてくださり、沢山の論文をしっかりと読み込まれておられ、またよく考えて論を組み立てられて素晴らしいと感じました。私にとってもよい経験でした。

1年目でこの完成度ですので将来が非常に楽しみです。先生の今後の益々のご発展をお祈りしております。

受賞者 有永 萌佳 先生

学会名 第95回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会
日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会 九州支部秋季学術講演会

賞名 初期臨床研修医 九州支部優秀賞

演題・論文タイトル 肺炎関連サルコペニア進行抑制におけるグレリンの治療可能性：老化マウスLPS誘導性肺傷害モデルによる検討

Journal名 Peptides

指導診療科 呼吸器内科

受賞コメント 令和7年10月に沖縄で開催された日本呼吸器学会ことはじめ甲子園・九州予選にて優秀賞を受賞致しました。学生時代から取り組んできた研究をさらに発展させ、今回の学会で発表させていただきました。ご指導いただいた坪内先生をはじめ、諸先生方の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

誌上掲載コメント このたび、肺炎およびサルコペニアに対するグレリンの治療可能性に関する研究論文が、学術誌「Peptides」に掲載されました。本研究では、グレリンが筋萎縮や炎症反応の改善に寄与する可能性について検討しました。本研究を進めるにあたり、多大なるご指導を賜りました坪内先生をはじめ、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。今後は内科専攻医として臨床と研究の双方に励んでまいります。

指導医からのコメント 呼吸器内科 坪内 拓伸 先生

有永先生は、学生時代より当教室で研究に真摯に取り組み、その探究心を研修医となった後も持ち続け、日々の診療と並行して努力を重ねてこられました。大学院での基礎研究と研修医としての臨床業務を両立し、得られた知見が国際英文誌に論文が掲載されたことはもとより、研究を継続するその姿勢は後進の先生方の大きな模範となるものです。今後は呼吸器内科に入局され、さらなる飛躍が期待されます。

//// 日本内科学会「ことはじめ2026」発表報告

令和8年4月11日に開催された、医学生・研修医・専攻医の日本内科学会ことはじめ2026東京に参加してまいりました!当宮崎大学からは、初期研修医2年次4名の先生が発表を行いました。

- ・和田晃基先生(指導医:循環器内科 森林耕平先生)「心室細動発症機序の鑑別に熟考を要した一例」
- ・宮田梨緒先生(指導医:呼吸器内科 小田康晴先生)「若年発症の高度肺気腫により慢性II型呼吸不全を呈したPossible AATD(α1-アンチトリプシン欠乏症)の一例」
- ・川崎信幸先生(指導医:消化器内科 畑田紘志先生)「多発肝細胞癌合併肝被膜下膿瘍に対し、超音波内視鏡下膿瘍ドレナージが有効であった1例」
- ・森梨乃先生(指導医:腎臓内科 黒田彩加先生)「健診で見つかったANCA関連腎炎の一例」

さて、この「ことはじめ」の演題数は年々増加しています。今年の一般演題数は547題(内科学会総会の一般演題は172題)でした。数の上でも内科学会総会を上回っており、今年はずいぶん、最も広いホールを含む2会場での開催となりました。

これは、未来を担う若い医師への期待の表れといえるでしょう。今回の一連の流れを通して、指導医である私自身も多くを学びましたし、個人的には若いエネルギーをもらえる“パワースポット”のように感じています。来年もぜひ研修医の先生方とともに、賑やかに参加したいと考えています。

研修医の先生方、そして各診療科の指導医の先生方、本当にお疲れ様でした!



和田 晃基先生



宮田 梨緒先生



川崎 信幸先生



森 梨乃先生

✓ 特別講義 「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の概念と実践」を開催いたしました!

令和8年3月19日、県内の研修医を対象とした特別講義「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の概念と実践」を開催いたしました。

本講義は、研修医カリキュラムにおける必須項目として位置づけられており、All Miyazaki体制のもと院内外の研修医が参加しやすいよう、対面開催に加えてオンライン配信も併用して実施いたしました。講師には、筑波大学医学医療系 教授であり、緩和医療およびACPの第一人者である木澤義之先生をお招きしました。

本講義は貴重な学習機会であることから、研修医に加えて指導医クラスの医師や看護師の皆様にも聴講を開放し、卒後臨床研修センターセミナー室には、研修医・指導医・看護師など計29名が参加しました。

講義では、アドバンス・ケア・プランニングの基本概念に加え、実臨床における具体的な進め方や、多職種での関わり的重要性について、豊富なお経験に基づく実践的なお話をいただきました。患者本人の価値観や人生観を尊重した医療の在り方、そして医療者が果たすべき役割について、参加者それぞれが深く考える機会となりました。

本講義の開催にあたり、ご多忙の中ご登壇いただきました木澤義之先生に、心より御礼申し上げます。



「なんでも掲示板」 原稿募集!

宮崎都市伝説、失敗リカバリー談、研修あるある話など、研修に係わる話ならなんでも原稿募集中です!

連絡先

宮崎大学医学部 医療人育成課 卒後臨床研修係
内線2385/2386

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL0985-85-1864 FAX0985-85-0693
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp

